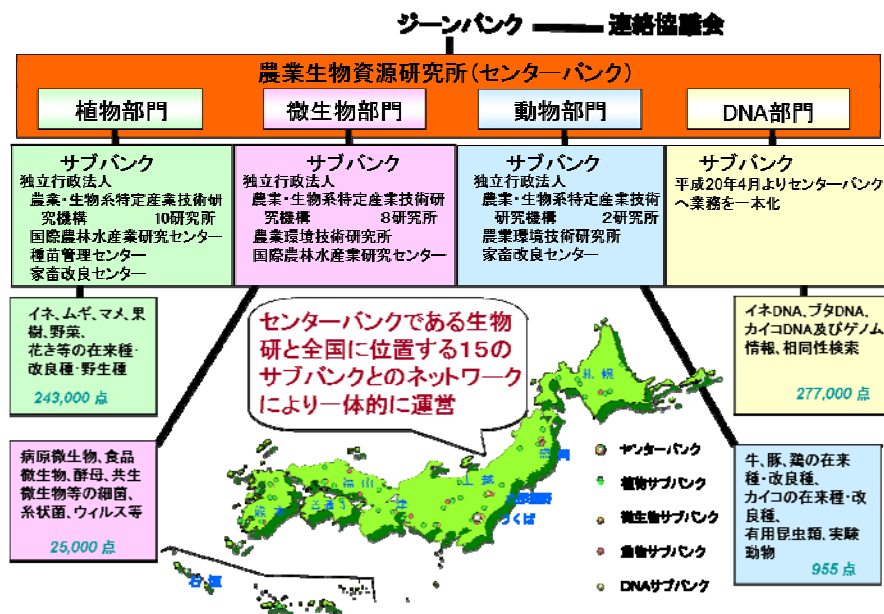


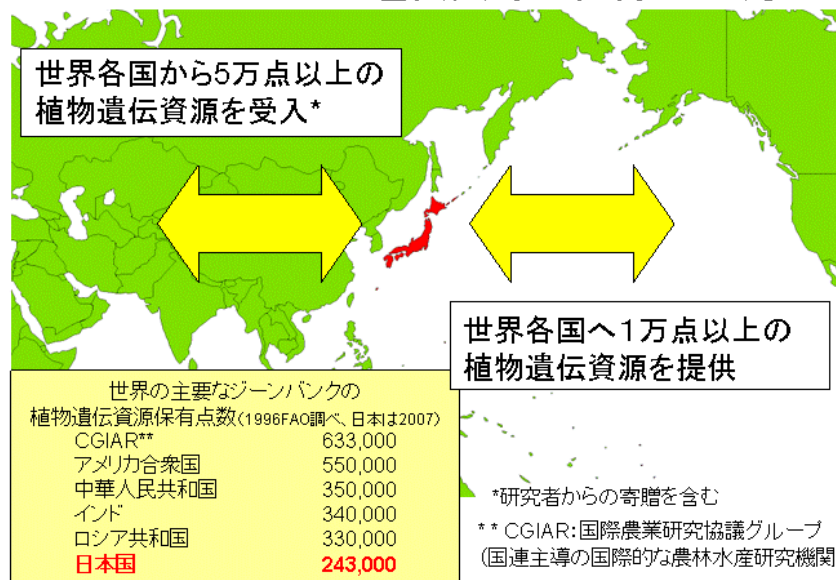
知的財産創出を支える研究基盤の提供 1 遺伝資源の保護と利用に関する活動

我が国の農林水産業、食品産業等の今後の発展を図るためには、基盤となる生物遺伝資源の確保が重要。

貴重な生物遺伝資源を次世代に引き継ぐとともに、研究開発の知的基盤として提供していくための総合的なシステムとして、(独)農業生物資源研究所において農林水産ジーンバンク事業を実施。



ジーンバンクによる遺伝資源の国際的な流通



海外の遺伝資源を導入した我が国の品種の例

品目	主な開発品種及び位置づけ	活用した特徴	遺伝資源		用途
			導入国	導入品種	
イネ	きらら397	耐冷性・食味	米国	CODY	食用
小麦	ホクシン	多収性	米国	ベルベツト	製麺
	ハルユタカ	耐病性、製パン性	メキシコ	Sietecerros	製パン用
カンショ	ベニアズマ	良食味、耐病性	インドネシア	T-No.3	食用
	ベニハヤト	高カロチン	米国	Centennial	加工用